

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：2023年9月16日

事業所名： エントランス

サービス種類： 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じたスペースを確保し、アクリル板やパーテーションを使って、プライベートスペースが保てるように気をつけている	(はい23、どちらともいえない2、いいえ0、わからない7) ・1人当たりのスペースがわからない	現状を維持する
	2 職員の適切な配置	スタッフ1名につき利用者2～3名の支援体制になるように配置 スタッフ15名(正社員4名、非常勤スタッフ11名)	(はい23、どちらともいえない1、いいえ0、わからない8)	適正な配置を継続する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	チャイムの使用、絵・写真を使った掲示などご利用者が自ら理解して行動できるように心がけている	(はい25、どちらともいえない2、いいえ0、わからない5) ・席がすぐにわからないことがある	子供達に配慮をした設備の整備を継続する 席表示がわかりやすくなるように改善する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃。利用中は常時換気 共有スペースとプライベートスペースを使い分けられるようにすることで、活動内容によってスペースを使い分けることで落ち着いて過ごせるように工夫している。	(はい28、どちらともいえない0、いいえ0、わからない4)	共有スペース、プライベートスペースの使い分けができるように継続する
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日情報共有のため、前日の振り返りと当日の予定を確認 正社員MTでは、担当業務の進捗を報告、共有月に1回、虐待防止委員会を実施		スタッフ間の情報の共有を継続する
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・外部の評価の実施はなし		必要があれば検討をする
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修を非常勤スタッフも含めて周知 参加希望者にはシフトを調整し参加できるように配慮		研修の案内と希望する者への参加の機会を確保する
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご利用者本人、家族のニーズを確認、スタッフ間で検討、サービス利用計画を参考に支援計画を作成	(はい30、どちらともいえない2、いいえ0、わからない0)	今後も継続する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別の活動(学習等)に関する目標と、集団活動(コミュニケーション等)に関する目標を設定した支援計画を作成		今後も継続する
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	設定をした目標に対して目標を達成するために必要な支援内容を記載	(はい30、どちらともいえない0、いいえ0、わからない2)	今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	事前のMTで最近の様子や支援のポイントをスタッフ間で共有 支援計画などご利用者に関する情報をどのスタッフも確認できる状態にしている	(はい31、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1) ・できるようになっていることもルーティーンで取り組むことになっているように感じる。すこしずつ向上するように希望。	向上を目指す支援についての見直しを行い、支援内容をご理解いただけるように保護者様に伝える
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	正社員MTで内容を検討 検討した内容を非常勤を含めたスタッフ全員に周知し実施		今後も継続する
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	生活習慣保持や学習時間確保のため必要に応じてご家庭に支援を提案。ご利用家族からの相談があった時には、適時対応。	(はい25、どちらともいえない1、いいえ1、わからない6)	今後も継続する
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	曜日別、月別で活動プログラムを実施。年間計画に基づき実施。		今後も工夫を続けるとともに、前年度の振り返りを生かして良い支援が提供できるように準備を進める
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	事前のMTで利用するご利用者の申し送りや、送迎車両が到着する時間を確認		今後も継続する
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	振り返りのMTを実施、その日の特記事項、家族からの要望、連絡帳のコメントを共有		今後も継続する
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録された日報は、利用者ごとにファイリングをして保管		今後も継続する
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	9月末と3月末にモニタリングと計画の見直し、モニタリングの為に会議を実施		今後も継続する	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者が参加するが、担当のスタッフが参加をするなど状況に応じて対応をしている 会議の内容はスタッフ間で共有		今後も継続する
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	利用されている子がいない		必要となった時検討をする
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	利用されている子がいない		必要となった時検討をする
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	過去に依頼なかったため実施していない		要請があった時は情報共有に協力をする
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	依頼があった場合に情報を提供している		家族に可能であることを周知、希望のある場合は協力をする
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市内の事業所連絡会に参加 研修会は非常勤スタッフも含めて全員が参加できるように授業所内で周知、必要に応じてスタッフを指名し参加を促す		今後も継続する
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童クラブ等との交流は実施をしていないが、中高生のご利用者には、年齢の近い学生スタッフとのコミュニケーションや一緒に活動する機会を持つようにした	(はい2、どちらともいえない2、いいえ8、わからない20) ・交流はなくてもよい(計3件) ・機会がない	児童クラブとの交流はむずかしいが、学生スタッフとの活動機会は今後も持てるようにする
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所として地域住民を招待できるようなイベントの企画はなし		地域のイベントには参加していきたいが、周辺のコロナの感染状況を考慮して参加の可否を判断していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約の時に重要事項説明書にそって説明をしている	(はい32、どちらともいえない0、いいえ0、わからない0)	現状を継続する
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談の時に支援内容を説明している	(はい32、どちらともいえない0、いいえ0、わからない0) ・毎回ではない	現状を継続する
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在まで企画、実施等は無し	(はい14、どちらともいえない4、いいえ6、わからない8) ・プログラムをしているかわからないが、相談には丁寧に対応してもらっている	ペアレントトレーニングの実施はむずかしいが、保護者へ向けての情報提供は今後も続ける
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳やメールを中心にやりとりしているが、必要に応じてこちらからお電話して様子を確認することもある	(はい29、どちらともいえない2、いいえ1、わからない0)	今後も継続する
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	家族からの相談に対してその都度対応。内容的に難しい話の場合は、別の日に面談を設定し実施	(はい29、どちらともいえない3、いいえ0、わからない0) ・年々回数が減っているように感じる。・面談がない	今後も毎年の全局面談実施を継続する 気軽に相談していただけるように声掛けや周知を継続する
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会、保護者会なし	(はい3、どちらともいえない1、いいえ9、わからない19) ・実施されているようですが参加していないのでわかりません。	保護者向けのイベントの企画を検討する
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	事業所内に苦情受付窓口をを設置 苦情を受け付けた際は、運営規定に沿って対応する(現時点で苦情受付件数0件)	(はい20、どちらともいえない2、いいえ1、わからない9) ※未回答1 ・相談はよくするが、苦情はしたことがないためよくわからない。	苦情受付窓口の周知を継続する 苦情があった時は真摯に対応をする
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵や写真を活用しこちらの意図が伝わるように配慮をしている	(はい30、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1)	今後も継続する
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	エントランスだよりを発行(毎月) 警報発令時の開所情報はホームページの「緊急速報」を使用 SNSアプリを使って追加利用の案内を発信	(はい26、どちらともいえない1、いいえ0、わからない5)	プリントによる定期的な情報の発信は継続するが、プリント以外の情報発信(SNS)にも積極的に取り組んでいく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	ご利用のお子様については、個人情報使用に関する同意書を保護者取り交わしている 社員には秘密保持に関する誓約書を入社時に取り交わしている	(はい29、どちらともいえない1、いいえ0、わからない2)	今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアル(感染症、危機管理)を作成し運用中。警報発令時の対応については子供用の連絡帳にプリントを添付 感染症ver.自然災害ver.はのBCPIは策定。	(はい28、どちらともいえない2、いいえ0、わからない2)	各マニュアルとBCPの周知を徹底をする
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年3回実施計画。1月と6月に避難訓練を実施済11月実施予定。 保護者とは防災用のメール訓練を年1回実施	(はい25、どちらともいえない0、いいえ0、わからない7)	引き続き年3回の訓練を継続する
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止・虐待時対応マニュアルを作成、運用中月1回、虐待防止委員会を実施、支援のことで気になったことを共有し検討。検討した内容は全スタッフに共有		虐待防止委員会は月1回の開催を継続する
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	支援計画に身体拘束に関する内容を記載		今後も身体拘束をしない
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	支援計画にアレルギーに関する対応についての項目を追加し、家族にも確認をいただいている		今後も継続する
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所のヒヤリハットはスタッフ全員で共有 法人内でも児童発達支援管理責任者がMT内で共有 別事業所の大きな事例の場合は事業所内の会議でスタッフに共有		今後も継続する